



CHAPTER 2

コマンドライン インターフェイス (CLI) による設定

この章では、Cisco IOS ソフトウェア CLI を使用して基本的な Cisco VG350 機能を設定する方法について説明します。

この章では、次の主要なトピックを示します。

- 「ホスト名とパスワードの設定」 (P.2-1)
- 「ファスト イーサネット インターフェイスの設定」 (P.2-3)
- 「コンフィギュレーションの変更の保存」 (P.2-4)
- 「UC ライセンスの有効化」 (P.2-6)
- 「次の作業」 (P.2-7)

Cisco VG350 を手動で設定するため、この章の手順に従ってください。または必要に応じて、`setup` コマンド機能を実行した後に設定を変更してください。

この章で説明するのは、最も一般的に使用される設定手順の一部のみで、可能な設定をすべては説明していません。高度な設定については、Cisco IOS コンフィギュレーションガイドおよびコマンドリファレンス マニュアルを参照してください。「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」 (P.vii) を参照してください。

ホスト名とパスワードの設定

最初の設定作業の 1 つはホスト名を設定し、暗号化パスワードを設定することです。ホスト名を設定することにより、複数の Cisco VG350 およびシスコ製ルータを互いに区別できるようになります。暗号化パスワードを設定することにより、不正な設定変更を防止できるようになります。

コマンド	目的
ステップ1 Router> enable password: password Router#	イネーブル モードを開始します。パスワードを入力します。 イネーブル モードが開始されると、プロンプトが Router# に変わります。
ステップ2 Router# configure terminal Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z. Router(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。グローバル コンフィギュレーション モードを開始すると、プロンプトが Router(config)# に変わります。
ステップ3 Router(config)# hostname Router(config)#	わかりやすい名前に Cisco VG350 の名前を変更します。Router にホスト名を入力します。
ステップ4 Router(config)# enable secret guessme	イネーブル シークレット パスワードを入力します。このパスワードにより、特権 EXEC モードにアクセスできます。ユーザ EXEC プロンプト (Router>) で enable と入力する場合、コンフィギュレーション モードにアクセスできるようにイネーブル シークレット パスワードを入力します。guessme にはイネーブル シークレット パスワードを入力します。
ステップ5 Router(config)# line con 0 Router(config-line)# exec-timeout 0 0 Router(config-line)# exit Router(config)#	ライン コンフィギュレーション モードを開始して、コンソール ポートを設定します。ライン コンフィギュレーション モードが開始すると、プロンプトが Router(config-line)# に変わります。 拡張した時間の間、コンソール画面で情報を入力しない場合に、Cisco VG350 の EXEC 機能のタイムアウトを防止します。 グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。

ホスト名およびパスワードの確認

正しいホスト名とパスワードが設定されていることを確認するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 show config コマンドを入力します。

```
Router(config)# show config

Using 1888 out of 126968 bytes
!
version XX.X
.
.
.
!
hostname
!
enable secret 5 $1$60L4$X2JY0woDc0.kqa1lo0/w8/
.
.
```

.

コマンド出力の先頭付近に表示されるホスト名と暗号化パスワードを確認します。

ステップ 2 グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、新しいイネーブル パスワードを使用して再び開始を試みます。

```
Router# exit
.
.
.
Router con0 is now available
Press RETURN to get started.
Router> enable
Password: guessme
Router#
```



ヒント 問題がある場合は、次の点を確認してください。

- **Caps Lock** キーがオフになっている。
- 正しいパスワードを入力している。パスワードは大文字と小文字の区別をします。

ファスト イーサネット インターフェイスの設定

ファスト イーサネット インターフェイスを設定するには、Cisco VG350 またはネットワーク モジュールと共に提供される設定ソフトウェアを必要に応じて使用します。その他の場合は、最強で柔軟なため、コンフィギュレーション モード (手動設定) を使用します。



(注)

設定を開始する前に、Cisco VG350 からすべての WAN ケーブルを外して、AutoInstall プロセスが起動しないようにしてください。両端に WAN が接続し、Cisco VG350 が有効なコンフィギュレーション ファイルを NVRAM に保存していない場合 (たとえば、新しいインターフェイスを追加した場合など)、電源を投入すると常に Cisco VG350 は AutoInstall を実行しようとします。AutoInstall がリモートの TCP/IP ホストに接続されていないと Cisco VG350 が判断するのに、数分間かかることもあります。

この項では、インターフェイスを有効にする方法や IP ルーティングを指定する方法などの基本設定について説明します。各ユーザ自身の要件とルーティングに使用するプロトコルに応じて、他のコンフィギュレーション コマンドを入力する必要がある場合もあります。

インターフェイスの設定を開始する前に、次のことを行っていることを確認してください。

- Cisco VG350 にコンソールを接続します。
- Cisco VG350 に電源を投入します。

コマンド	目的
ステップ1 Router> enable password: password Router#	イネーブル モードを開始します。パスワードを入力します。 イネーブル モードが開始されると、プロンプトが Router# に変わります。
ステップ2 Router# configure terminal Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z. Router(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。グローバル コンフィギュレーション モードを開始すると、プロンプトが Router(config)# に変わります。
ステップ3 Router# ip routing Router# ipx routing	グローバル コンフィギュレーションの必要に応じて、ルーティング プロトコルを有効にします。この例では、IP ルーティングおよび Internetwork Packet exchange (IPX) ルーティングを使用します。
ステップ4 Router(config)# interface fastethernet 0/0 Router(config-if)#	インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始すると、プロンプトが Router(config)# に変わります。
ステップ5 Router(config-if)# ip address 172.16.74.3 255.255.255.0	IP アドレスとサブネット マスクをインターフェイスに割り当てます。
ステップ6 Router(config-if)# ipx network B005	インターフェイスのルーティング プロトコルを設定します。グローバル設定の一部として、これらのプロトコルを前もって有効にする必要があります。この例では、IPX はインターフェイス上に設定されます。
ステップ7 Router(config-if)# exit	グローバル コンフィギュレーション モードに戻ります。 Cisco VG350 に設定するインターフェイスが複数ある場合は、手順 4 ~ 6 を繰り返して行ってください。
ステップ8 Router(config-if)# Ctrl-z Router#	インターフェイスの設定が終了すると、イネーブル モードに戻ります。

コンフィギュレーションの変更の保存

Cisco VG350 のコンフィギュレーションの消失を防ぐために、次の手順でコンフィギュレーションを NVRAM に保存します。

コマンド	目的
ステップ1 Router> enable password: password Router#	イネーブル モードを開始します。パスワードを入力します。 イネーブル モードが開始されると、プロンプトが Router# に変わります。
ステップ2 Router# copy running-config startup-config	リセット、電源の再投入、または停電時に設定が失われないようにするため、変更した設定を NVRAM に保存します。
ステップ3 Router(config-if)# Ctrl-z Router# %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console	イネーブル モードに戻ります。 このメッセージは正常であり、エラーを意味するものではありません。

UC ライセンスの有効化

Cisco VG350 の UC ライセンスを有効にするには、次の手順を実行してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **license accept end user agreement**
4. **license boot module *module-name* technology-package *package-name***
5. **exit**
6. **save**
7. **reload**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	enable 例： Router>enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ2	configure terminal 例： Router#: configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	license accept end user agreement 例： Router(config)#: license accept end user agreement	UC ライセンスのワンタイム認証を設定します。 • 「YES」を入力して、UC ライセンスを受け入れます。
ステップ4	license boot module <i>module-name</i> technology-package <i>package-name</i> 例： Router(config)#: license boot module vg350 technology-package uck9	ライセンスを有効にします。
ステップ5	exit 例： Router(config)#: exit	特権 EXEC コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンド	目的
ステップ6	save 例： Router#: write	設定を保存します。
ステップ7	reload 例： Router#: reload	ルータをリロードします。

次の作業

この時点で次の作業に進むことができます。

- より高度な設定トピックについては、Cisco IOS ソフトウェアの [コンフィギュレーション ガイド](#) と [コマンド リファレンス](#) を参照してください。これらのマニュアルは [Cisco.com](#) または [Documentation CD-ROM](#) にあるか、ハード コピーを注文できます。
- 『*Cisco System Error Messages, Release 12.3(4)T*』 および 『*Cisco Debug Command Reference, Release 12.3(4)T*』 にトラブルシューティングについての説明があります。これらのマニュアルおよびその他のマニュアルについては、「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」(P.vii) を参照してください。

